



行方市
NAMEGATA

に こと
式湖と大地のなめがた

議会だより

No.41

平成27年11月1日発行

発行：行方市議会 〒311-3512 行方市玉造甲404 TEL0299 (55) 0111 発行者：行方市議会議長 鈴木義浩 編集：行方市議会広報委員会



水産体験教室にて（要・津澄・武田小 5年生）

主な内容

平成27年
9月
定例会

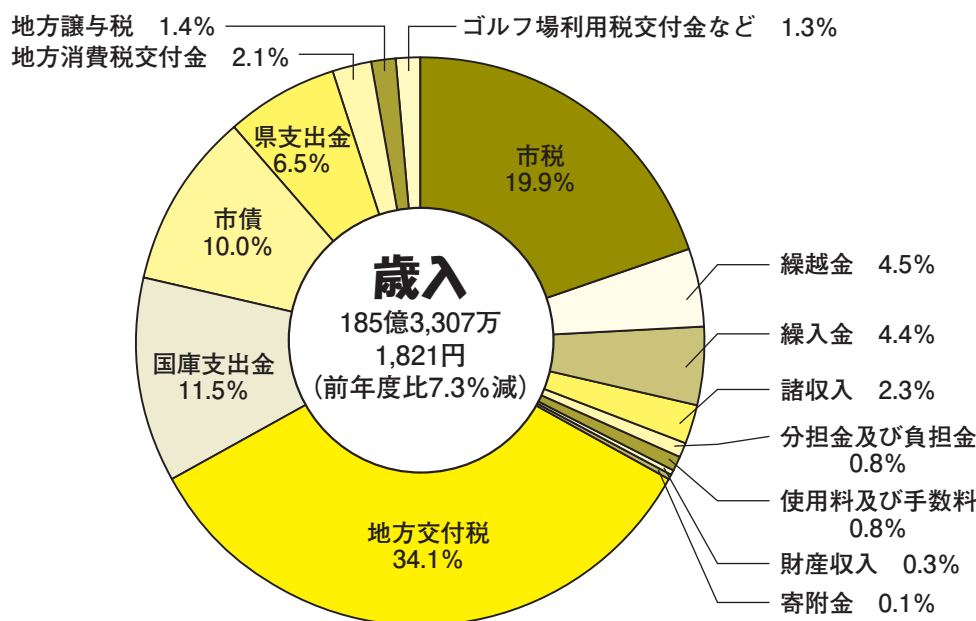
■ 第3回定例会	2～6P
■ 特別委員会	7P
■ 一般質問 9名の議員が登壇	8～13P
■ 委員会レポート	14P
■ 議会トピックス	15P
■ 市民の声	16P

9月定例会



平成26年度決算を徹底審査

一般会計の決算状況



平成27年第3回行方市議会定例会は、9月1日から18日までの18日間の会期で開催されました。

本会議では、平成26年度決算認定9件のほか、専決処分の報告や条例改正案、補正予算など15件が市長から、また、会議規則の一部改正案、意見書案3件が議員から提出されました。

決算認定案は、閉会中の継続審査となりました。そのほかの議案はいずれも、原案のとおり可決されました。

自主財源	市税	36億9,729万円
	繰越金	8億3,290万円
	繰入金	8億1,094万円
	諸収入	4億2,169万円
	分担金及び負担金	1億5,104万円
	使用料及び手数料	1億4,305万円
	財産収入	5,573万円
	寄附金	2,606万円
	合計	63億1,864万円

依存財源	地方交付税	63億1,864万円
	国庫支出金	21億3,774万円
	市債	18億5,310万円
	県支出金	12億428万円
	地方消費税交付金	3億8,689万円
	地方譲与税	2億5,750万円
	ゴルフ場利用税交付金など	2億3,623万円
	合計	122億1,438万円

※金額は、1万円未満を四捨五入しているため、端数の関係で円グラフ中央の合計額とは一致しません。

第3回定例会の経過

9月1日(火)

- ・本会議
- ・開会
- ・会期の決定・諸般の報告
- ・議案の上程、説明、質疑、討論、採決

3日(木)

- ・本会議
- ・一般質問(3議員)

4日(金)

- ・本会議
- ・一般質問(3議員)

7日(月)

- ・本会議
- ・一般質問(3議員)

8日(火)

- ・本会議
- ・議案の上程、説明、質疑、討論、採決

9日(水)

- ・本会議
- ・議案の上程、説明、議案に対する質疑
- ・決算特別委員会の設置、付託、委員の選任

18日(火)

- ・本会議
- ・常任委員長報告、委員長報告に対する質疑、採決
- ・議案
- ・閉会中の所管事務調査
- ・議員の派遣
- ・閉会

提出議案

報告第13号 専決処分の報告

9 会計は継続審査

平成 26 年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算は、議長及び議会選出監査委員を除く 18 名で構成する「決算特別委員会」が設置され審査を行いました。

また、決算特別委員会では、さらに 2 つの分科会に分かれ、専門的かつ効果的な審査が行われましたが、審議は継続となり、次回開催の第 4 回定例会で、審査結果が報告される予定です。

委員会での審査の内容は、採決の結果と併せて、次号でお伝えします。

◆決算特別委員会（委員：18 名）

委員長 宮内 守 副委員長 栗原 繁

◇第 1 分科会

主査 宮内 正 副主査 土子浩正

（議会事務局・市長公室・総務部・会計課・保健福祉部・教育委員会を審査）

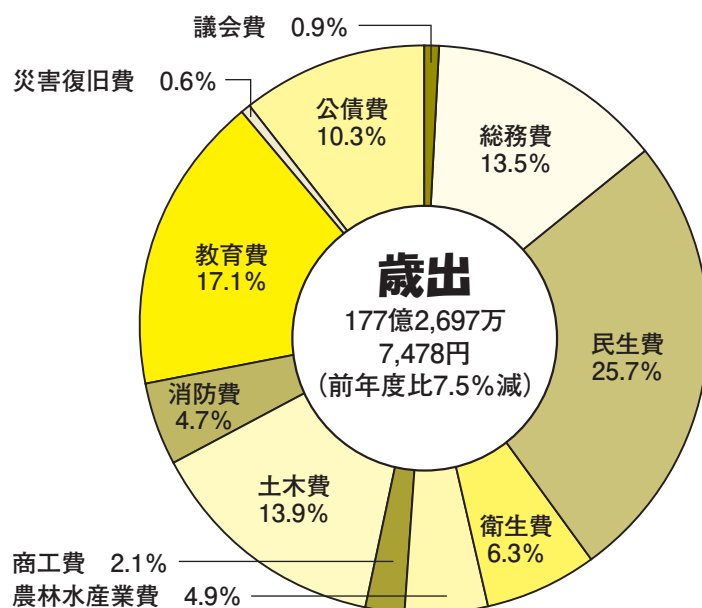
◇第 2 分科会

主査 小林 久 副主査 阿部孝太郎

（建設部・水道課・経済部・農業委員会を審査）

- ・一般会計 177 億 2,698 万円
- ・国民健康保険特別会計 52 億 10 万円
- ・介護保険特別会計 34 億 235 万円
- ・後期高齢者医療特別会計 2 億 9,904 万円
- ・農業集落排水事業特別会計 1 億 6,154 万円
- ・特定環境保全公共下水道事業特別会計 4 億 7,915 万円
- ・流域関連公共下水道事業特別会計 3 億 658 万円
- ・戸別浄化槽整備事業特別会計 9,424 万円
- ・水道事業会計 13 億 3,078 万円

※金額は歳出、1 万円未満を四捨五入しています。



基金の状況

一般会計 54億4,463万円
特別会計 4億2,151万円

地方債の状況

一般会計 194億4,066万円
特別会計 57億6,650万円
水道事業 33億7,152万円

議会費	1 億 5,699 万円	土木費	24 億 6,977 万円
総務費	23 億 8,803 万円	消防費	8 億 3,444 万円
民生費	45 億 5,483 万円	教育費	30 億 3,068 万円
衛生費	11 億 2,030 万円	災害復旧費	1 億 778 万円
農林水産業費	8 億 7,631 万円	公債費	18 億 2,469 万円
商工費	3 億 6,317 万円		

について（損害賠償の額を定め、和解することについて）
報告第 14 号 平成 26 年度行方市健全化判断比率の報告について
報告第 15 号 平成 26 年度行方市資金不足比率の報告について
諮問第 1 号 人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第 2 号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 47 号 行方市いじめ問題再調査委員会条例の制定について
議案第 48 号 行方市税条例の一部を改正する条例について
議案第 49 号 行方市個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について
議案第 50 号 行方市手数料徴収条例の一部を改正する条例について
議案第 51 号 工事請負変更契約の締結について（北浦統合小学校校舎新築工事（建築工事））
議案第 52 号 平成 27 年度一般会計補正予算（第 3 号）について
議案第 53 号 平成 27 年度行方市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について
議案第 54 号 平成 26 年度行方市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第 55 号 行方市道路線の認定について
議案第 56 号 教育委員会委員の任命について

諮問・人事

人権擁護委員の推薦

しまださちこ
島田幸子

(三和639番地)

へたみちこ
邊田美知子

(石神1710番地3)

平成27年12月31日で任期満了となりますが、引き続き両氏を推薦し、適任であると答申しました。

教育委員会委員の選任

みやうちしゅひと
宮内淑人

(小高905番地2)

任期・平成27年12月1日から平成31年11月30日

平成27年11月30日で、永峰美津枝氏が任期満了となることから、新たに任命することに同意しました。

農業委員の推薦

行方市農業委員会委員の推薦



おざわえつこ (根小屋) 小澤悦子



おおくぼしょういち (小幡) 大久保正一



やっだきよこ (荒宿) 谷田清子

任期満了に伴い、行方市議会として、3名を推薦しました。

報告

専決処分の報告

報告第13号

公用車運転中に起こした車両との接触事故について、損害賠償の額を25万2,503円と定め和解したとの報告がありました。

健全化判断比率、資金不足比率の報告

報告第14号

平成26年度行方市健全化判断比率の報告

報告第15号

平成26年度行方市資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、報告がありました。

行方市の数値は、昨年に引き続き国の定めた「早期健全化基準」を下回っています。

条例

議案第47号

行方市いじめ問題再調査委員会条例

現在、行方市いじめ問題対策協議会を中核とし、教育委員会と各学校において情報共有し対応しているが、重大事態に対して専門的で実効力のある事後の対応をするため新たに制定しました。

委員は5人以内、任期2年

議案第48号

行方市税条例の一部を改正する条例

平成27年度地方税制改正により、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことにより、一部改正を行いました。

- ・ 個人番号または法人番号の等の規定を整備
- ・ たばこ税（旧3級品紙巻きたばこ）の特例税率の廃止

議案第49号

行方市個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

社会保障・税番号の導入に係る行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の施行に伴い、特定個人情報の利用及び提供等に関し必要な事項を定めるため、改正を行いました。

議案第50号

行方市手数料徴収条例の一部を改正する条例

番号法施行に伴い、通知カードの再交付手数料の改正を行いました。

提出議案

議案第51号

工事請負変更契約の締結について（北浦統合小学校校舎新築工事（建築工事））

契約の方法

一般競争入札

契約金額

（変更前14億6,664万円）

(変更後15億2,388万円)

契約の相手方

常総・高橋・藤崎特定建設

工事共同企業体

代表構成員

神栖市賀2108番地8

常総開発工業株式会社

代表取締役 石津正美

構成員

行方市繁昌353番地の1

高橋建設株式会社

代表取締役 高橋修一

構成員

行方市新宮745

藤崎建設工業株式会社

代表取締役 藤崎政行

工期 平成28年3月10日



議案第54号

平成26年度行方市水道事業

会計未処分利益剰余金の処分

地方公営企業法の規定によ

り、未処分利益剰余金1億3,

069万6,157円のうち、

減債積立金に1,543万5,

701円を積み立て、自己資

本金へ1億1,526万456

円を組み入れました。

議案第55号

行方市道路の認定

・路線名…(玉)2527号線

・起 点…玉造甲334番地先

・終 点…玉造甲3390番地先

発議第6号

行方市議会会議規則の一部

を改正する規則

提出者…岡田晴雄

提出賛成者…鈴木 裕、

栗原 繁、宮内 正、

小林 久、土子浩正

近年の男女共同参画の状況にかんがみ、地方議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進するため、会議への欠席に関する規定の一部改正を行いました。

意見書

発議第7号

総務委員会が提案した「地

方財政の充実・強化を求める

意見書」が可決され、国の機

関に提出されました。

意見書(一部要約)

2016年度の政府予算、

地方財政は、歳入・歳出を的

確に見積もり、人的サービス

としての社会保障予算の充

実、地方財政の確立をめざす

ことが必要であることから、

政府に以下の事項の実現を求

めます。

1. 増大する地方自治体の財

政需要を的確に把握し、こ

れに見合う地方一般財源総

額の確保をはかること。

2. 急増する社会保障ニーズ

への対応、人材確保するた

めの社会保障予算の確保、

地方財政措置を的確に行う

こと。

3. 復興にかかる財源措置は、

復興集中期間終了後も継続

すること。

4. 各種税制の廃止、減税を

検討する際には、自治体財

政に与える影響を十分検証

すること。

5. 地方財政計画にある「歳

出特別枠」、「まち・ひと・

しごと創生事業費」は、自

治体の財政運営に不可欠な

財源となっており、確保す

こと。

6. 地方交付税の財源保障機

能・財政調整機能の強化を

はかり、市町村合併の算定

特例の終了を踏まえた新た

な財政需要の把握、小規模

自治体に配慮した段階補正

の強化などの対策を講じる

こと。

【提出先】

総務大臣

発議第8号

教育厚生委員会が提案した

「教育予算の拡充を求める意

見書」が可決され、国の機関

に提出されました。

意見書(一部要約)

子どもたちに豊かな教育を

保障することは、社会の基盤

作りにとってきわめて重要な

ことである。

また、東日本大震災等にお

いて、学校施設の被害や子ど

もたちの心のケアなど教育の

早期復興のための予算措置、

早期の学校施設の復旧など政

府として人的・物的な援助や

財政的な支援に継続的に取り

組むべきである。

したがって、教育予算を国

全体として、しっかりと確保

・充実させるため、次の事項

を実現されるよう、強く要望

する。

1. きめ細かな教育の実現の

ために少人数学級を推進す

ること。

2. 教育の機会均等と水準の

維持向上をはかるため、そ

の根幹となる義務教育費国

庫負担制度を堅持するこ

と。

3. 震災からの教育復興のた

めの予算措置を継続して行

うこと。

【提出先】

内閣総理大臣

内閣官房長官

文部科学大臣

財務大臣
総務大臣

発議第9号

経済建設委員会が提案した「TPP（環太平洋連携協定）交渉において農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を最優先し、交渉脱退も含め衆参両院の農林水産委員会における国会決議を遵守することを求める意見書」が可決され、国の機関に提出されました。

意見書（一部要約）

政府は「米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目について、引き続き再生産可能となるよう除外又は再協議の対象とすること」とした国会決議を遵守すべきである。

また、食の安全やISD条項など、国民の暮らしや、いのちに関わる重要課題について不安を招来させぬよう、毅然とした交渉姿勢を貫き通すべきである。

さらに、マスコミ報道で不安を抱えている全国の農業者

に対し、懸念を払しょくする十分かつ明確な説明を行うべきである。

よって、下記のとおり対応されるよう強く望むものである。

1. 農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を最優先し、交渉脱退も含め衆参両院の農林水産委員会における国会決議を遵守すること。

2. 交渉により収集した情報について、国民に十分な情報開示を行うこと。

【提出先】

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
内閣府特命担当大臣
（経済財政政策）
農林水産大臣
経済産業大臣

～ 議会へ請願・陳情される方へ ～

請願・陳情とは、市民が市政についての要望や意見を直接「議会」に提出する方法です。

- ※ 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に分かりやすく書いてください。
- ※ 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ※ 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自筆による署名及び押印が必要です。
- ※ 紹介議員が見つからないときは、陳情書としてください。
- ※ 道路等は簡単な地図、略図、図面等をつけてください。

（表紙例）

（内容例）

請願（陳情）書

紹介議員
署名 印

〇〇〇についての請願
（陳情）

1. 要旨
2. 理由

平成 年 月 日
請願（陳情）者の住所
氏名 印
行方市議会議長 殿

どうなった 請願・陳情

採択となった請願

■地方財政の充実・強化を求める意見書についての請願

【請願者】

全日本自治団体労働組合茨城県本部
執行委員長 黒江正臣
自治労行方市職員組合
執行委員長 山野泰之

■教育予算の拡充を求める請願

【請願者】

茨城県教職員組合 吉田 豊

■TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する請願書

【請願者】

なめがた農業協同組合
代表理事組合長 中川治美

特別委員会

特別委員会の開催状況、審議内容についてお知らせいたします。

行方市議会活性化特別委員会

平成27年7月21日

第1委員会室

主な協議内容
・議会の活性化に向けての課題について

平成27年8月18日

第1委員会室

・課題の整理、テーマ検討

平成27年9月17日

第1委員会室

・一般質問における質問方式について
・議員定数20名の経緯について

地方創生推進特別委員会

平成27年7月21日

第1委員会室

主な協議内容

・行方市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

平成27年9月17日

第1委員会室

・行方市事業レビューの状況について



百里基地対策特別委員会

平成27年9月15日

第1委員会室

主な協議内容

・行方市百里基地周辺整備協議会の要望について
・在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係市町村議会連絡協議会の要望書について

指名焼香辞退のお知らせ

行方市議会では、申し合わせにより、市議会議員としての「指名焼香」を辞退することとなりました。

市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

行方市議会

※ 行方市議会活性化特別委員会において、協議のうえ決定し、9月1日より辞退しております。

今定例会で補正された平成27年度予算

(議案番号) 会計別	補正額	主な内容	総額
(議案第52号) 一般会計	3億 3,430万 6,000円 増額	防犯対策事業 / 6,801万1,000円 財政調整基金 / 2億4,222万2,000円 公共施設整備基金積立金 / 415万3,000円 通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金 / 1,302万円 急傾斜地崩壊対策事業負担金 / 280万円	185億 3,411万 3,000円
(議案第53号) 介護保険特別 会計	174万 9,000円 増額	国庫支出金等償還金 / 125万2,000円 介護保険システム改修委託料 / 22万7,000円 包括支援センターシステム改修委託料 / 27万円	33億 7,174万 9,000円

市の考えを問います

一

般

質

問

第3回定例会の一般質問は9月3日・4日・7日の3日間で行われ、9名の議員により、熱い議論が展開されました。

(※次頁からの質問と答弁は、要約して掲載しています。)

～質問議員及び主な質問内容～

阿部 孝太郎

- 1 地方創生に関して
- 2 マイナンバー制度に関して

小野瀬 忠利

- 1 教育現場の現状について
- 2 公共施設の整備について
- 3 観光事業の推進について

平野 和

- 1 高速道路を活かした本市の事業計画
- 2 有害鳥獣対策

河野 俊雄

- 1 合併10年の現状と課題
- 2 教育行政の現状と課題

宮内 正

- 1 通学道路について
- 2 ハイウェイオアシスについて

藤崎 仙一郎

- 1 子育て支援

高橋 正信

- 1 空き家対策について
- 2 KDDI跡地利用計画について
- 3 鳥獣対策について
- 4 安全、安心なまちづくりについて
- 5 18歳選挙権法について

栗原 繁

- 1 障害者福祉制度のあり方
- 2 地方創生事業の進捗
- 3 公の施設の改廃・再構築

小林 久

- 1 魅力ある街づくり

(質問議員の順番は、登壇順です。)

一般質問とは…
議員が、市行政全般にわたり、執行部に対し、
執行状況及び将来に対する方針等について質し、
あるいは報告、説明を求め又は、疑問を質すること
(制限時間90分)



阿部 孝太郎 議員

地方創生に関して

問 総合戦略書策定の進捗状況は。

答 市長 市民100人委員会と行方市行政改革推進委員会が判定人となる事業レビューで、様々な角度からの議論と市民参画型での事業の見直しを期待しています。

庁内組織、まち・ひと・しごと創生本部では4回の会議を開催し、また、中堅若手職員から成るワーキングチームを設置して、事業シート等の作成に取り組み、市民100人委員会にも参画しています。

問 人口ビジョンに関して、どのような展望をもっているのか。

答 市長 従来の縦割りの議論ではなく、情報共有を図りながら、一つの施策で複数の効果が発揮できるように、部局間をまたいだ横串の議論により計画策定します。

答 教育長 進学等で市外に出て

も、将来は地元に戻ってくる、そのような気持ちを育んでいきたいと考えており、その土台として、児童・生徒に対し、郷土愛の充実を図っていきます。

問 第一次産業に対する支援策はどのようなものか。

答 経済部長 農業は基幹産業であり、新規就農者への支援、担い手の育成、6次産業化の推進等を主要な施策としています。漁業においては、地場水産物の情報を広く発信し、学校給食での食育にも取り組んでいくところです。

マイナンバー制度に関して

問 新制度への対応、市民への周知活動は。

答 市長 条例の一部を改正するとともに、研修会等を実施し、職員の意識向上を図りながら、セキュリティ対策を進めます。

答 総務部長 市報10月号では特集を組んで、個人・法人向けのPRを行っていきます。



小野瀬 忠利 議員

教育現場の現状について

問 子ども達は安定した学校生活が送られているか。いじめ、不登校の状況は。教員の教育、指導、支援に関しては。放課後児童クラブの現状は。

答 市長 学校を学習の場、放課後児童クラブを家庭生活の一部と捉え、大事な居場所と考えています。

答 教育長 児童・生徒に学校生活アンケート、個別面談、相談ポストを実施しています。家庭訪問、保護者会等でも情報を得たり、啓発を行っています。生徒指導連絡会議により情報の共有化を行っています。また、教員一人一人が目標を決めて達成状況や取り組み状況を評価し、指導力の向上と組織の一員としての自覚を高めることに努めています。

公共施設の整備について

答 市長 更新、統廃合、長寿命化を計画的に行い、財政負担の軽減、平準化を図るとともに、適切な配置を目指す行方市公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいます。学校跡地については、小・中学校跡地等利活用実施計画に基づき有効な利活用を進めていきます。

答 市長公室長 公共施設の相互利用について、石岡市、茨城町、小美玉市、行方市の4市町で共同利用に関する勉強会を発足し検討していきます。

観光事業の推進について

答 経済部長 先導的官民連携事業を取り入れ市内観光施設が民間資本やノウハウを活用できるか調査を実施しています。また、若い人達の柔軟な思考を取り入れ地域資源の再発見、共有、活用を目指していきます。

答 市長公室長 14市町村と県で水郷筑波サイクリング環境整備事業推進協議会を設置し(仮)ナショナルサイクルートの認定を目指しています。



平野 和 議員

高速道路を活かした 本市の事業計画

問 高速道路を活かした本市の事業計画について、首都圏からのアクセス向上をどの様にとらえているか。

答 市長 高速道路の整備により、本市の交通アクセス等が整備促進され、産業の振興や交流人口の増加が期待されます。高速道路のインターチェンジが近いということは産業系の企業誘致においては大きな誘因になるもので、この利便性の高い交通アクセスを最大限に活用できるよう努めていきます。

また、本市の南東部に「なめがたファーマーズヴィレッジ」が10月末にオープンの予定であり、これは地域産業や観光の振興にも大きく寄与するもので、市内の観光資源と交通アクセスを連携させた

交流人口の増加や諸事業の新しい展開ができる基盤が整うものと考えており、今後の市の各種計画に反映させていきます。

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策に関して、市内に於ける電気柵の使用状況は。

答 経済部長 小規模なところでやっている人はいるかも知れませんが、電気柵に関しては法的な規制が直接的にはなく、私どもでは残念ながら電気柵の使用実績について把握しておりません。

問 ある程度、行政でも使用状況を把握し正しい使い方をされる様、行政指導も必要になってくるのでは。

答 経済部長 これからは当然、電気柵を使用する人も出てくると想定し、それに対応する指導、対応を検討していきたいと考えています。



河野 俊雄 議員

合併の必要性の検証

答 市長 市町村合併は究極の行政改革と言われており、合併の効果として人件費と公債費で約9億円の減額が図られましたが、自治体としての生き残りをかけ健全な行財政運営を図りながら、さらなる安心・安全なまちづくりを進めていきます。

新市建設計画の進捗状況

答 市長公室長 新市建設計画での合併特例債の活用は、平成27年度末で約70億円、平成28年度から平成37年度まで約95億円を活用できるような計画となっています。

次の10年への課題

答 市長 第2次総合計画及びまち・ひと・しごと総合戦略計画を

一体的に策定しているところであり、現在進めている地方創生において課題を抽出し、特色を活かしたより実効性のある総合戦略にしていきます。

地方教育行政改正への対応

答 教育長 制度改革で教育委員長と教育長が一本化され、教育委員会の運営全般にわたり教育長の職務となりました。いじめ等への対応については、総合教育会議の開催、状況を調査する調査委員会、支援対応にあたるコーディネーターの選任など、実効性のある体制づくりに努めています。

行方市の教育行政の方向

答 教育長 第1に学校の歴史や伝統の位置づけ、第2に一人ひとりの子どもに寄り添った学校・学級経営の実践、第3に進んで学び確かな学力を身につける、第4にたくましさの育成、この4点を共通課題として取り組んでいます。



宮内 正 議員

通学道路について

問 麻生中学校の県道水戸神栖線側の通学道路の整備の進捗はどうなっているか。

答 市長 スクールバス運行のための道路の拡幅及び、徒歩、自転車での通学の安全確保のための歩道設置など、整備を進めているところです。

答 建設部長 国道側1.5キロメートルの改良工事が完了しました。残る県道側1.3キロメートルの整備を進めています。用地の取得は相続手続きがなされていない、境界が未確定、用地協力に反対などありますが、約3割の用地を取得しています。

現状においては、整備可能などから工事着手を目指し、用地取得が困難な場合は歩道設置の工事のみとするなど計画の見直しも必要であると考えています。中学

校付近の谷状になっている箇所はカーブである上に勾配も急で通行に危険が伴う状況なので盛土工事を検討しています。用地取得は完了しています。

ハイウェイオアシスについて

問 東関東自動車道水戸線潮来鉾田間の高速道路建設着工に伴い、ハイウェイオアシスの構想はどのように考えているのか。

答 市長 麻生、北浦にインターチェンジの設置が予定されています。市内適地にサービスエリアやパーキングエリアと公園、あるいは地域振興施設などを一体的に整備するハイウェイオアシスが具体化できるよう国・県に働きかけています。実現すれば地域の特産物の販売やPR地域の方々と本市を訪れた方々の交流など、人、物の好循環をもたらす、地域活性化に大きな役割を果たすものと考えます。

答 市長公室長 今後、国・県にパーキングエリアなどを要望していきながら前向きに検討します。



藤崎 仙一郎 議員

子育て支援

問 保護者が仕事などの都合で看病ができないとき、子どもたちの健康回復と病状に合わせた保育、家庭と変わらないケアができるような子育て事業が究極の子育て支援ではないかと考える。

病児・病後児保育を行っている施設とその対象者を働きながら子育てしている保護者にどのように伝えているのか。

答 市長 子どもは健康なときはもとより、病気のときは一層身体的にも精神的にもケアが必要です。家庭の就労形態と病気の子どももの安全安心を図るためにも、病児・病後児保育事業を充実させていかなければなりません。事業を行うには、受け入れ条件もありますので、園とも協議をしながら受

け入れ態勢を整えていきたいと考えています。

問 放課後児童クラブの利用状況は。

答 保健福祉部長 放課後児童クラブが5ヶ所、降園後は麻生幼稚園、玉造幼稚園の2ヶ所で実施しています。登録者数は、放課後児童クラブ452名、市内小学校全体27%となっております。土曜日は玉造1ヶ所で実施しています。土曜日の放課後児童クラブについては、玉造のみでこれまで実施してきました。今後指導員の雇用の関係もございいますが、場所の選定については、土曜日キッズをどこで実施するかを再度検討させていただきたいと思っています。





高橋 正信 議員

空き家対策について

問 特措法の全面施行を受け、実態調査への取り組みは。

答 市長 空き家等がもたらす問題を解消するには、建築、住宅、景観、まちづくり、税務、総務、防災、環境、水道、商工等の関係課が連携して、空き家等の対策に対応できる連携体制を構築し推進していきます。

答 総務部長 空き家等に関する相談窓口を設置し、所有者等に限らず空き家等の周辺市民からさまざまなご相談や苦情等に対応していきます。空き家等の利活用については、空き地、空き家バンクとも連携しながら進めていきます。

問 特措法を踏まえて、空き家条例の制定を進めていけないものか。

答 市長 財産権の問題等も踏まえ、28年度に予算措置しています。

ので、前段の段階で研究をし条例化に適するか判断し、進めていきたいと思っています。

KDDI跡地利用計画について

問 検討委員会において、利活用策についての具体的な検討事項は見られるか。

答 総務部長 民間事業者より当該跡地の一部を利用する太陽光発電事業の提案を受けて、本年7月に検討委員会を開催してきました。結果として当初の土地取得目的との違いや里山保全の優先と相反する等の意見が出され、市の対応としては委員会の意見を尊重し、事業者からの提案をお断りしたところです。

安全、安心なまちづくりに ついて

問 老々介護世帯の共倒れを防ぐためにも、緊急通報システムの設置はできないものか。

答 保健福祉部長 議員ご指摘の緊急通報システムをこれからは、老々介護世帯にも拡大していくような検討をしていきたいと考えます。



栗原 繁 議員

障害者にかかわる 支援制度の実情と課題

答 市長 地域に住む全ての人々が、お互いの多様性を認め合い、地域社会で生活し参加できる取り組みを進めています。また障害のある方が、意欲を持ち自分らしく生き生きと地域で暮らしていけるよう、福祉施設利用者の一般就労への移行を見据えた取り組みや、施設入所者にあつては、地域生活への移行を目標としたサービス事業の充実を図っていきます。

障害児に対しては、早期から適切な療育を行うことが、障害の軽減と健全育成の面で重要です。保護者に対して、安心して療育ができるようにするための支援の充実も欠かせません。幼児期から学齢期、あるいは成人に至るまで、行政各分野の連携を強化し、切れ目なく一貫性のある支援が行える仕組みづくりを推進していきます。

障害者支援制度は、国の法令や計画に基づき実施しているところですが、住民に一番身近な行政窓口である市として、障害児・障害者の方々の声をよく聞き、よりよい福祉サービスの提供に努めます。

答 保健福祉部長 課題は、施設入所者から在宅への移行促進や、就労継続支援事業所から一般就労への移行者の増加を上げています。施設から在宅への移行には、それぞれの段階での必要なサービス事業所の整備が必要です。また一般就労へ移行するためには、企業を理解を促す取り組みや、移行後の定着支援の取り組みを促進していきたいと考えています。

障害者の方に必要なサービスを切れ目なく提供するとともに、保護者の不安を取り除くためにも、各部署での取り組みの連携が必要です。行政だけでなく、学校・医療機関・サービス事業所等の連携を推進し、適切に情報提供ができるような体制づくりを進めたいと考えています。



小林 久 議員

魅力ある街づくり

問 ふるさと住民票の導入の考えは。

答 市長 人口減少の進む自治体はどうやってファンづくりや交流人口の増加をつくっていくという点では、いいきっかけになります。本市のまち・ひと・しごと総合戦略の目標値として、皆様と検討していく価値はあると思っています。

問 行方市名刺の新デザインは考えているか。

答 副市長 名刺は、相手に自分の情報だけでなく行方市の情報も伝える重要なツールです。ある意味、本市の印象、イメージを左右するものと思っています。本市のPR、アピールしたいことを適時名刺に盛り込んでおり、現在のデ

ザインでも柔軟に対応できていると考えています。市の顔であるという名刺の重要性を認識し、知名度向上や魅力が伝わるよう、より効果的な名刺づくりに努めます。

問 誇れる教育方針と課題は。

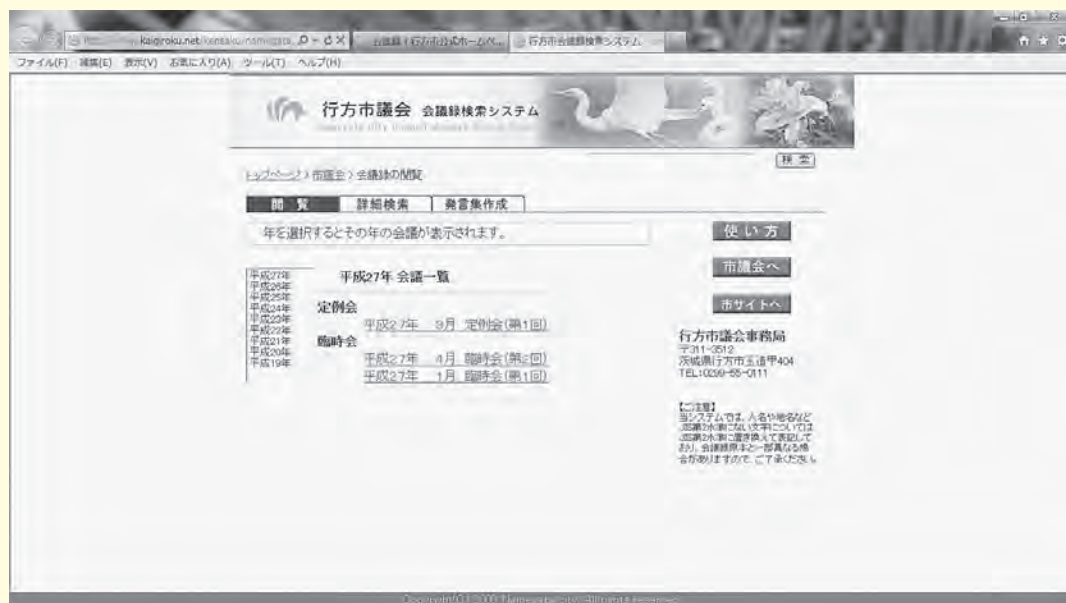
答 教育長 他市町村に先駆け全国的に注目される学校の統廃合が来々4月開校の北浦統合小学校をもって、完了します。特に整備面において充実が図られたことは、大変誇れるものと考えています。

小・中連携に公立幼稚園を加え、地域間、学校間の連携を強化し、間断のない教育の実現を図っていくことが大きな課題であると考えています。

問 気力ある職務遂行のための努力はされているか。

答 総務部長 今後も定員純減や人件費削減により人員が減少する中、職員一人一人の能力向上は必須です。平成28年度から、人事評価制度を本格導入することとなります。

会議録(文字)はインターネットでご覧いただけます。



行方市公式ホームページから市議会のページへアクセスしてください。「会議録」をクリックすると、「会議録検索システム（外部リンク）」にジャンプし、会議録を閲覧することができます。会議録は随時更新しています。

委員会レポート

行政視察の結果を報告します

視察概要

○総務委員会（栗原 繁 委員長）

視察先： 北海道苫小牧市役所、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 苫小牧東部国家石油備蓄基地

視察日： 7月2～3日

参加者： 委員6名、副議長、市3名（計10名）

内 容： 石油・天然ガスの今後の展望と、循環型社会におけるエネルギーミックスを踏まえた将来的な地域新エネルギー（太陽光・水力）活用及び、自主防災組織の取り組みについて視察しました。



○教育厚生委員会（宮内 正 委員長）

視察先： 千葉県習志野市 市立秋津小学校
東京都東村山市 東村山むさしの認定こども園

視察日： 6月23～24日

参加者： 委員7名、市3名（計10名）

内 容： 習志野市立秋津小学校を場としたコミュニティづくりの経過、実践、成果等、また、東村山むさしの認定こども園の運営状況概要について視察しました。



○経済建設委員会（小林 久 委員長）

視察先： 秋田県羽後町役場、(株)ローソンファーム秋田、
岩手県紫波町役場、岩手県岩泉町役場

視察日： 6月29～7月1日

参加者： 委員7名、議長、市6名（計14名）

内 容： 秋田県羽後町で行った小学校跡地を利用した(株)ローソンファーム秋田植物工場の概要、及び岩手県紫波町での浄化槽整備事業市町村設置型（PFI）の取り組み概要、また、岩手県岩泉町の全国一の畑わさび生産について視察しました。



委員会では、付託された議案等の審査や
所管する事項の諸問題について調査を行っています。

第3回定例会で付託された請願について、次のとおり審査しました。

総務委員会

（9月14日、第1委員会室）
○請願第4号

地方財政の充実・強化を求める意見書についての請願

審査結果

請願の趣旨、内容は妥当であると認め、全会一致で採択すべきものとなりました。

教育厚生委員会

（9月14日、第1委員会室）
○請願第5号

教育予算の拡充を求める請願

審査結果

請願の趣旨、内容は妥当であると認め、全会一致で採択すべきものとなりました。

経済建設委員会

（9月15日、第1委員会室）
○請願第6号

TPP（環太平洋連携協定）交渉に関する請願書

審査結果

請願の趣旨、内容は妥当であると認め、全会一致で採択すべきものとなりました。

● 議会日誌 ●

7月

- 30日 経済建設委員会所管事務調査
- 30～31日 米軍再編6基地協議会総会

8月

- 5日 県東市議会議長会
- 7日 PFI研修
東関東自動車道説明会
- 18日 行方市議会活性化特別委員会
- 21日 経済建設委員会
総務委員会
- 24日 教育厚生委員会
- 24日 百里基地協議会面会
- 25日 議会運営委員会
全員協議会
広報委員会
- 26日 東関東水戸線・国道51号バイパス中央要望

9月

- 1日 議会運営委員会
- 1～18日 第3回 定例会
- 10～11日 決算特別委員会
- 14日 教育厚生委員会
総務委員会
- 15日 百里基地対策特別委員会
経済建設委員会
- 17日 行方市議会活性化特別委員会
地方創生推進特別委員会
議会運営委員会
- 28日 広報委員会

10月

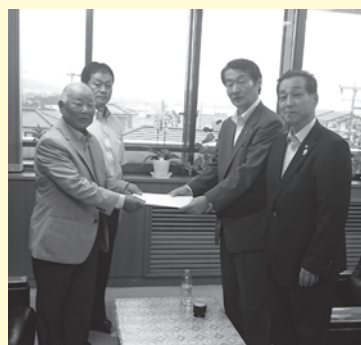
- 2日 経済建設委員会行政視察
- 6～7日 議会運営委員会行政視察
- 14日 水戸神栖線・玉里水戸線道路建設
促進期成同盟会県要望
- 15～16日 広報委員会行政視察
- 26日 県東市議会議長会
- 27日 県市議会議長会
- 28～29日 関東市議会議長会



右から宮内議員・岡田議員・小林議員
左上、関野前議員

岡田晴雄議員
宮内 正議員
小林 久議員
関野謙一前議員

表彰されました
全国市議会議長会より、地方自治の伸長発展、市政の向上振興に努められた功績が称えられ、次の議員が表彰されました。



要望がありました
吉川土地改良区（宮内 務理事長）より、大雨時に大円寺川（旧麻生町・旧北浦町境）が、柵渠側面裏の農道法面及び畦畔法面の土砂が川底から流出し、支障をきたしていることから、改修の要望がありました。

「平成27年9月関東・東北豪雨」に対するお見舞い

鬼怒川の堤防決壊により、甚大な被害にあわれた「常総市」へ、当市議会ではただちに義援金をお送りさせていただきました。

被害に遭われた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興を心よりご祈念申し上げます。



傍聴してみませんか？

次の定例会は12月1日（火）開会の予定です。

12月1日（火） 開会、議案の上程、審議
4日（金） 一般質問
7日（月） 一般質問
8日（火） 一般質問（予備日）

○議場は、玉造庁舎（3階）にあります。

○傍聴席は44席（先着順）

○事前の申し込みは不要です。

日程は、決まり次第、市ホームページ等で、ご案内いたします。

ご不明な点は、議会事務局へお問い合わせください。

（☎ 0299-55-0111）

ちょっとひと言!!

市民の声



広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



●私は、この緑豊かな行方が大好きです。しかし、大好きな故郷も日本の各地同様、少子高齢化と共に人口減少が進み過疎化に向かっていることを大変憂えています。小さな市ですが、みんなの知恵があります。財政が乏しくても、夢に向かって進む情熱が残っています。誰かが何かをしてくれないからと言わず、私が出れることをする力もあります。市議会の皆さん、私たちの先頭に立って下さい。みんなが元気な故郷を取り戻しましょう。

(70代女性)

●私は学生時代北海道に住んでいましたが、長期休講時には毎回帰省をしておりました。毎度感じるのが『故郷の味』でし

た。社会人になり数年地元を離れていましたが、家業後継者として戻ってまいりました。私は行方市の住みやすさ、農産物がとても大好きです。まだまだ若い世代の私ですが今後の行方市の為、世代を通じて守るものを守り、育て、支えられる様に日々研鑽を積んで行きたいと思いま

(20代男性)

●一年前玉中の野球部が存続の危機にある事を当紙に投稿しました。その後現状を見続けてきました。現在一年生の部員四人で旭中と合同で試合に出ており昨年合同でやっていた北浦中はなんと大野中と一緒に。どうして行方市内の中で出来なかったのか? そんなとき、玉小のグラウンドで野球らしきルールを先生が熱心に教えている光景を目にしうれしくなりました。玉中の野球部を守る為スポーツ少年団関係者や小学校の先生方に頑張ってもらいたい願っております。

(60代男性)

●大きな二つの湖に森や川、豊かな自然に囲まれ、その中で自然を通して子ども達がのびのびと成長していける事を幸せに思っています。しかし、少子化が進み近所のお友達と気軽に遊べなかつたり、いざという時の小児救急など医療機関の受け入れ体制やこれからの高齢者・障害があ

る方など生活弱者に対する支援。この豊かな環境を活かしながら、全ての市民が安心して生活できるように街づくりをお願いしたいと思います。

(40代女性)

●行方市の小学校は合併により四校になる。

廃校後の更地や校庭跡に、現役時代に寄付や寄贈された立派な記念碑や石像・銅像等が放置されて居る。

それを一ヶ所に集め、先人達の、その時代を語る歴史や記念公園に、又は憩いの場を造成すれば先人達の児童・生徒の人格の成長・将来を願った事を思い出す場所ともなり道徳心の倍増もされると思う。

(80代男性)

●今秋、大和第三小学校跡地に、なめがたファーマーズヴィレッジがオープンしますが、とても楽しみにしているひとりです。

手づくり体験教室やレストラン、カフェもあると聞いています。

市制施行10周年を迎えましたが、いまひとつ活気にかけていると思います。

多くの市民が親しみやすく集まれる、行方市が活気づくようなテーマパークになるといいなと期待しています。

(50代女性)

編

集

後

記

一年前の広島での土砂災害、また今回の記録的な大雨で死者・行方不明者が出た関東・東北の豪雨被害、改めて従来の防災対策の見直しと行政による適切な情報提供が求められていると思わずにはおれません。また私達市民は住んでいる地元の危険箇所を認識し、災害時に必要な行動が取れるよう事前の心構えが大切になってくると思います。さて、市議会においては、第3回定例会の開催となり、26年度決算審査が執り行われ、決算の認定案9件は慎重なる審査をするため閉会中の継続審査となりました。結果においては次回の定例会において報告とさせていたいただきます。この決算審査が次年度予算編成への指標となれば幸いです。これから季節は秋から冬へと移り変わって寒さも一段と厳しさを増してきます。皆様におかれましては健康に十分留意され人生を謳歌されますことご祈念申し上げます。(高橋正信)

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



広報委員会

委員長	正 信
委員	浩 忠
委員	子 瀬
委員	土 小
委員	野 高
委員	宮 藤
委員	阿 部
委員	仙 孝
委員	郎 太